

# にらさき

第3回定例会 .....	P2
議決結果一覧表 .....	P4
委員会活動報告 .....	P5
ここが聞きたい(代表・一般質問) .....	P6



10月12日(日)、蕪崎駅前中央通りから本町通りを会場として「武田の里にらさき・ふるさとまつり」が行われました。当日は天候にも恵まれ、たくさんの皆さんで賑わい、盛会に開催されました。

会場では様々な演奏やパフォーマンス、また市民の笑顔の写真約3,000枚で制作された「モザイクアート」(巨大壁画)や「ニーラがお願い叶えます」に選ばれた夢・願いの発表、タイムカプセル「未来レター」の投函など市制施行60周年記念イベントも行われ、至るところで笑顔や歓声が弾けていました。





## 新議員紹介

11月16日に葦崎市議会議員補欠選挙が執行され、浅川 裕康氏が当選しました。18日に選挙管理委員長から当選証書が交付されました。

今回の当選者を含め、市議会議員18名の任期は平成27年10月9日です。

■ 浅川 裕康（37歳）・無所属・行政書士・竜岡町・当選回数1回

## 第3回定例会

平成26年第3会定例会は、9月4日から25日までの22日間の会期で開催しました。今議会では、平成25年度決算認定、平成26年度一般会計、特別会計、事業会計に係る補正予算、条例の改正、固定資産評価委員選任、請願、意見書の提出など37案件を審議し、請願4件は不採択と決し、他は原案のとおり可決・認定・同意等されました。

### 【補正予算】

一般会計補正予算（第2号）、下水道事業特別会計補正予算（第1号）、病院事業会計補正予算（第1号）及び水道事業会計補正予算（第1号）は、財務常任委員会で審査された後、本会議で可決されました。

#### ■ 平成26年度一般会計補正予算（第2号）

補正予算額 2億6,272万3千円

##### ● 主なもの（歳出）

- 歳計剰余金を財政調整基金に積立  
..... 1億7,105万2千円  
(平成25年度決算における実質収支の2分の1相当)
- 支給対象者の確定に伴う臨時福祉給付金支給事業費..... 3,314万円
- 太陽光発電設備設置等に伴う保育園再編整備事業費..... 1,388万2千円
- 梨北農業協同組合穂坂支店の集出荷施設増築工事補助等による農業団体育成事業費  
..... 893万3千円
- 葦崎駅構内つつじ植栽業務委託等の追加経費による観光施設管理事業費... 106万2千円
- 市道等の応急処理箇所増加に対処するための道路橋梁維持事業費..... 980万2千円

- 葦崎西中学校テニスコートの防球ネット設置工事として中学校施設管理事業費  
..... 482万8千円
- 「花子とアン」ロケ地オープンセット移転、整備経費等として民族資料館管理運営費  
..... 1,262万8千円

#### ■ 下水道事業特別会計補正予算（第1号）

補正予算額 631万4千円（減額補正）

- 一般会計繰入金、職員給与費の減額等による

#### ■ 病院事業会計補正予算（第1号）

補正予算額 763万5千円

- 診断書作成システム導入経費

#### ■ 水道事業会計補正予算（第1号）

補正予算額 6,690万1千円

- 御勅使水源配水ポンプ更新工事費等

## 一般会計（歳出総額）133億8,874万6千円など平成25年度決算を認定

平成26年第3回定例会で、平成25年度一般会計、特別会計、企業会計、各会計の決算について、財務常任委員会に付託審議のうえ、本会議で認定しました。（決算額の詳細は、広報11月号をご覧ください。）

### 【条例関係】

#### ■ 韮崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償の額について改正  
〔指定病院等の不在者投票外部立会人及び鳥獣被害対策実施隊員の各報酬額を新設〕

※不在者投票外部立会人対象指定病院等とは、  
韮崎市立病院、韮崎相互病院、山梨県立北病院、  
介護老人保健施設あさひホーム、養護老人ホーム  
静心寮、特別養護老人ホーム穴山の杜、  
山梨県立あけぼの医療福祉センターです。

#### ■ 韮崎市甘利山休憩舎設置及び管理条例を廃止する条例

老朽化に伴い、甘利山休憩舎を取り壊すことによる。

#### ■ 再編保育園建築主体工事請負契約の変更について

設計変更に伴う変更契約の締結について議会の議決が必要なため議決

##### ◎変更契約の理由

外構工事（擁壁・水路）等の追加に伴う設計変更

##### ◎契約変更事項

契約金額4億1,040万円を  
4億1,684万7,600円に増額

#### ■ 訴えの提起について

訴訟の提起及び和解については、地方自治法の規定により議会の議決が必要なため議決

※市営住宅の明渡し及び滞納使用料の支払いを請求するため訴訟の提起

なお、分割納入等により完納の履行が見込まれるときにあっては和解するものとする。

### 【人事案件】

#### ■ 韮崎市固定資産評価審査委員会委員の選任について

韮崎市固定資産評価審査委員会委員の任期が平成26年9月24日満了となるため、その後任者の選任について議会の同意を求める必要があるため、次の方の選任に同意しました。

小野 千秋氏（旭町）

### 【意見書】

#### ■ 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書

##### ◎提出先

内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、総務大臣及び文部科学大臣

##### ◎概要

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため30人以下学級とすること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。
3. 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

#### ■ 手話言語法（仮称）の早期制定を求める意見書

##### ◎提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣及び厚生労働大臣

##### ◎概要

手話が音声言語と対等な言語であることを国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学び、自由に手話を使って意思疎通を図り、さらに手話を言語として普及、研究することのできる社会環境の整備に向けた法整備を進めるため、「手話言語法（仮称）」の早期制定を要請する。

# 平成26年 第3回定例会議決結果一覧表

## 賛否のあった議案

○賛成 ●反対（清水一議長を除く）

議案番号	件名	守屋久	宮川文憲	高添秀明	清水康雄	田原一孝	西野賢一	小林伸吉	奥石賢一	秋山泉	若下良一	森本由美子	野口紘明	藤嶋英毅	一木長博	清水正雄	小林恵理子	議決結果	
認定第1号	平成25年度一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	認定
認定第2号	平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
請願第25-6号	医療費助成制度窓口無料化に伴う国民健康保険国庫負担の減額廃止の意見書提出を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	不採択
請願第25-9号	TPP交渉から撤退することを求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	不採択
請願第26-1号	集団的自衛権に関する意見書の提出を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	不採択
請願第26-4号	特定秘密保護法の廃止を求める意見書の提出を求める請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	不採択

## 全会一致の議案

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第52号	平成26年度一般会計補正予算（第2号）	可決	認定第7号	平成25年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第53号	平成26年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	認定第8号	平成25年度第一鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第54号	平成26年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計補正予算（第1号）	可決	認定第9号	平成25年度第二鈴嵐恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第55号	平成26年度水道事業会計補正予算（第1号）	可決	認定第10号	平成25年度第二御座石前山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第56号	地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決	認定第11号	平成25年度旭山恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第57号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	認定第12号	平成25年度八森恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第58号	福祉事務所設置条例及び生活福祉資金等利子補給条例の一部を改正する条例	可決	認定第13号	平成25年度戸沢日影半腹福恩賜林保護財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第59号	病児・病後児保育所条例の一部を改正する条例	可決	認定第14号	平成25年度青木御座石財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
議案第60号	甘利山休憩舎設置及び管理条例を廃止する条例	可決	認定第15号	平成25年度国民健康保険葦崎市立病院事業会計決算の認定について	認定
議案第61号	再編保育園建築主体工事請負契約の変更について	可決	認定第16号	平成25年度下水道事業会計決算の認定について	認定
議案第62号	訴えの提起について	可決	請願第26-4号	請願文書の一部訂正について	承認
議案第63号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	請願第26-5号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書	採択
認定第3号	平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	請願第26-6号	手話言語法（仮称）の早期制定を求める請願書	採択
認定第4号	平成25年度簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議第2号	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための意見書	可決
認定第5号	平成25年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	議第3号	手話言語法（仮称）の早期制定を求める意見書の提出について	可決
認定第6号	平成25年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定			

## 請願

◆今議会に提出された請願の各常任委員会での審査状況

☆請願第26-5号

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

提出者：葦崎市PTA連合会  
外3団体

委員会付託先 ↓ 総務教育常任委員会  
委員会の審査結果 ↓ 採択

☆請願第26-6号

手話言語法（仮称）の早期制定を求める請願書

提出者：葦崎市聴覚障害者協会  
委員会付託先 ↓ 市民生活常任委員会  
委員会の審査結果 ↓ 採択

☆請願第26-7号

誰もが安心して老後をくらせる最低保障年金制度の創設を求める請願

提出者：進歩と革新をめざす葦崎の会  
委員会付託先 ↓ 市民生活常任委員会  
委員会の審査結果 ↓ 継続審査

☆請願第26-8号

消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願

提出者：消費税廃止山梨県各界連絡会  
委員会付託先 ↓ 産業建設常任委員会  
委員会の審査結果 ↓ 継続審査

# 委 員 会 活 動 報 告

## 総務教育常任委員会

【9月定例会会期中の委員会】

9月18日開催（出席議員6人）

### 主な審査事項

- 議案第56号：地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 議案第57号：葦崎市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第61号：再編保育園建築主体工事請負契約の変更について  
右の3議案は、全員一致で採択すべきものと決しました。
- 請願第26-1号：集团的自衛権に関する意見書の提出を求める請願（継続審査案件）  
7月1日の閣議決定により他国に行つて戦争をすることなどの心配はかなり払拭されているなど意見が出され、全員一致で不採択すべきものと決しました。
- 請願第26-4号：特定秘密保護法の廃止を求める意見書の提出を求める請願（継続審査案件）  
行政情報を適切に運用する方針が確認されている。取材活動も尊重されるよう検討されているなど意見が出され、全員一致で不採択すべきものと決しました。
- 請願第26-5号：30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書（新規案件）  
全員一致で採択すべきものと決しました。
- 請願第26-8号：消費税増税の撤回を求める意見書提出を求める請願（新規案件）

提出者から説明を受け、社会保障費に充当する財源の考え方などの質疑のうえ、全員一致で継続審査案件とすることに決しました。

## 市民生活常任委員会

【9月定例会会期中の委員会】

9月18日開催（出席議員6人）

### 主な審査事項

- 議案第58号：葦崎市福祉事務所設置条例及び葦崎市生活福祉資金等利子補給条例の一部を改正する条例
- 議案第59号：葦崎市病児・病後児保育所条例の一部を改正する条例  
右の2議案は、全員一致で採択すべきものと決しました。
- 請願第25-6号：医療費助成制度窓口無料化に伴う国民健康保険国庫負担の減額廃止の意見書提出を求める請願（継続審査案件）  
国民健康保険の国庫負担の減額廃止を国へ求めるため、請願の採択を求めることなど意見が出され、採決の結果、採択すべきものに対する挙手少数で不採択すべきものと決しました。
- 請願第26-6号：手話言語法（仮称）の早期制定を求める請願書（新規案件）  
提出者から説明を受け、全員一致で採択すべきものと決しました。
- 請願第26-7号：誰もが安心して老後をくらしせる最低保障年金制度の創設を求める請願（新規案件）  
提出者から説明を受け、少額年金生活者

の懸念や制度の創設、運営に要する原資など議論のうえ、賛成多数により継続審査案件とすることに決しました。

## 産業建設常任委員会

【9月定例会会期中の委員会】

9月18日開催（出席議員5人）

### 主な審査事項

- 議案第60号：葦崎市甘利山休憩舎設置及び管理条例を廃止する条例
- 議案第62号：訴えの提起について  
右の2議案は、全員一致で採択すべきものと決しました。
- 請願第25-9号：TPP交渉から撤退することを求める請願（継続審査案件）  
各国と交渉が進められていて、撤退することは貿易に不利益を生じさせる恐れがあるなど議論のうえ、採択すべきものに対する挙手少数で不採択すべきものと決しました。
- 請願第26-2号：労働者派遣法の改悪に反対する意見書の提出を求める請願（継続審査案件）  
企業の雇用体制や雇用者、被雇用者の賃金形態など議論のうえ、賛成多数により継続審査案件とすることに決しました。
- 請願第26-3号：「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書（継続審査案件）  
山梨県の賃金状況や会社経営の実情など議論のうえ、賛成多数により継続審査案件とすることに決しました。

# 代表質問・一般質問

## にらさきの まちづくり ここが聞きたい

### 11人の議員が市政を問う

代表質問及び一般質問の内容は、項目は抜粋、質問と答弁は要約したものです。

詳細な内容は、" 韮崎市ホームページ→市議会→会議録検索 " でご覧いただけます。録画中継も配信しています。

#### 代表質問

##### 減災対策について



宮川 文憲 議員  
[葦政クラブ]

##### その他質問

- ◆市長の出処進退表明について
- ◆中学校運動部の早朝練習について
- ◆保育園跡地の再活用について

質問 近年局地的な集中豪雨に伴い、本市でも「土砂災害警戒区域」「特別警戒区域」内の住民避難のタイミングなど、危険回避に向けた課題を抱えています。ハザードマップを活用した避難対策と2月の記録的な大雪を教訓に除雪対策の検証、検討について。

宮川市長 土砂災害時の避難仕組みについては、先に自主防災組織の連絡協議会を立ち上げ、災害が予測される場合は、避難勧告と早い段階で自治会・自主防災組織と連絡を取り合い対処していく考えです。次に大雪被害の検証と除雪体制については、道路状況の情報発信に課題を残したことから、アクセス道路を中心に除雪路線の効率化を図るため、委託業者の路線の見直しを行っており、効率的な除雪対策を進めていき、道路規制・除雪状況は県と連携し、情報

提供に努めます。

##### 人口減少社会への施策について

質問 人口減少は確実な未来予想と言われており、今後の人口、高齢化の対策で同時進行で画期的な処方箋を出すことは困難を伴うが、何に力点を置いて将来の活力ある地域づくりを目指していくのか。

宮川市長 人口問題は、本市においても最重要課題と認識しており、今月私を本部長とした韮崎市人口対策本部を立ち上げ、財政状況を考慮し、人口対策を意識した住まい、雇用、子育てなど各種施策を展開してまいります。

##### 特定規模電気事業者(PPS)からの電力調達検証と推進について

質問 平成24年9月1日の電気料金改定に伴い、公共施設の電気料金も相

当の負担増になるので、PPSからの電力調達を9月議会で取り上げ、格差の大きい施設から調査・研究することとした。その後の電力調達でどの程度の負担軽減につながったのか。

宮川市長 PPSからの電力調達により、基本料金を含め契約施設全体で昨年度は1,300万円程度の経費節減につながり、今後、該当する事例が発生した場合は、導入を検討してまいります。

##### 市営墓地拡張計画と火葬場整備計画について

質問 以前より市営墓地の拡張計画を進めてきたが、その後の計画見直しについて。また火葬場の今後の整備計画はあるのか。用地確保、財政負担など鑑みると、近隣市と使用契約の協議も一考あると思うが。

宮川市長 富士見ヶ丘市内の墓地拡張は同意が得られず、今後寺院などの法人の整備も期待し、市営墓地確保について研究してまいります。次に火葬場整備計画については、今後近隣の施設の共同利用も含め、多面的に研究を始めたところであります。



興石 賢一 議員  
[共伸クラブ]

### 市民との人口減少 実態の共有化につ いて

**質問** 国立社会保障・人口問題研究所が公表した本市の将来人口の推計資料では、2010年の総人口は3万2,477人であったものが、30年後の2040年には2万4,152人に減少します。このうち、20歳から39歳の若年女性人口は、3,409人であったが、1,927人に減少し、若年女性の人口変化率は30年間に43.5%の減となります。このような状況を市民に正しく伝え、認識してもらおうべきと考えます  
が伺います。

**回答** 国立社会保障・人口問題研究所及び日本創成会議が発表した2040年の人口推計は、その減少の大きさをから新聞等で大きく取り上げられ、本市など地方自治体における人口減少が著しく、ショッキングな推計

結果となりました。今後、中長期的な施策形成をはじめ機会を捉えて市民の皆様と情報を共有してまいります。

### 「出会いと結婚」の機会づくりについて

**質問** P・I・C・Oに協力を求め、これらの組織の持っているノウハウを活かすとともに、連携し適齢期の方々に募集して婚活イベントをしたらどうかと思ひますが伺います。

**回答** 今後、様々なノウハウも参考としながら、婚活イベントを開催する団体等への具体的な支援のあり方を研究検討してまいります。

### 出産に対する支援 について

**質問** 市内への産婦人科誘致は、当初予算で助成事業費として3,250万円を計上してありますが、誰がいつごろ、どの場所でのくらの規模で開設されるのか伺います。

**回答** 山梨市の医療法人東雲会より申請があり、開設予定は年内を、開設場所及び規模については、市民交流センター3階スペース、約240

m<sup>2</sup>を予定しているとのこととです。

### 子育て支援の更なる 充実について

**質問** 保育料の負担が重荷になっている若い世帯が多くあると聞き及んでいます。人口増のためには一層の支援が必要であり、既に本市では国の基準より負担軽減を図っていますが、人口を増やすには、更なる負担の軽減と保育時間の延長等による支援が必要であると思ひますが伺います。

**回答** 保育料の負担軽減については、明年度から施行される新たな子育て支援制度のもと、国が利用者負担金の基準を改めますが、未だ明確に示されていません。現行の水準を基準とする考えとのことですが、本市もそのような考えのもとに改訂を行いたいと考えています。また保育時間の延長などによる支援については、新制度への移行に伴って入所条件が緩和される等のため、入所希望者の増加が見込まれているので、まずは待機児童を出さないことを最重点課題とし、各保育園の保育士配置や保育施設の利用方法の工夫を行いたいと考えております。



小林 伸吉 議員  
[公明党]

### 地域包括ケアシ ステムの構築につ いて

**質問** 高齢者が住みなれた地域で医療、介護、生活支援などのサービスを受けられる地域包括ケアシステムの実現に向け、各地で知恵を結集し、本格的な取組みが始まっています。在宅で医療、介護のサービスが受けられる環境を整える医療介護総合確保推進法が6月に成立しました。

**回答** 高齢者が住みなれた地域で医療、介護、生活支援などのサービスを受けられる地域包括ケアシステムの構築に向けての取組みは、7月に示された新しい総合事業、「介護予防・日常生活総合事業」のガイドラインを基本に、現在市が行っている介護予防事業の拡充と合わせ、要支援者が新事業へ円滑に移行できるよう、事業所等から聞き取りなどを行い準備を進めています。

1. 本市の地域包括ケアシステムの構築に向けての取組みを伺います。  
2. この法律は在宅医療、介護まで一連のサービスを地域で総合的に確保することが柱であり、医療と介護の連携強化がポイントです。市の取組みを伺います。  
3. 高齢者一人一人に対する適切な介護予防などの支援サービスを提供し、介護卒業を目指すべきだと考えます。ニーズ調査の実施状況と地域ケア会議の実施準備状況を伺います。

### その他質問

◆子ども・子育て支援新制度について

**質問** 移行までの間の要支援の新規認定者は、今までどおりと同様な介護サービスが受けられるのか、また、本市では、何年度から移行する予定でしょうか。

**回答** 移行までの間の要支援の新規認定者は、従前と変わらぬサービスが受けられます。移行は今のところ、平成28年、遅くも29年中にしたいと考えています。

### 防災・減災につ いて

**質問** 広島では、基礎調査がハザードマップ等の特別警戒区域の指定に反映されていなかった点が指摘されてきました。本市の状況を伺います。

**回答** 土砂災害「警戒区域」「特別警戒区域」の指定は、県において調査・指定が100%完了しており、本市ではこの調査・指定をもとにハザードマップを作成し、平成25年5月に全戸配付しました。



田原 一孝 議員  
[荏苒クラブ]

### 学力テストの学校別公表について

**質問** 文部科学省は、小学6年生と中学3年生が対象の全国学力テストの実施要項を変更し、2014年4月22日の学力テストから公表が解禁になりましたが、本市ではどのような結果であったか。また、生活習慣や学習環境の調査も同時に実施されましたが、結果はいかがだったかお伺いします。

**答** 全国学力テストの結果は、他市町村と比較できるデータがないことから順位づけはできませんが、中学校、小学校の平均正答率及び科目平均正答率ともに県平均と同等かそれ以上となっています。また、本市の生活習慣及び学習習慣のアンケート調査結果は、生活習慣で8割が良好、家庭学習時間では全国平均を上回っています。

### その他質問

- ◆人口減少対策について
- ◆土砂災害について
- ◆LED防犯灯の設置について

### いじめ対策について

**質問** 2013年9月にいじめ防止対策推進法が施行されたことを受けて関係機関との連絡協議会や有資格者を交えた第三者委員会を設置することが望ましいとしています。本市では、いじめ防止基本方針の策定や連絡協議会及び第三者組織については、今後どのように進めていくかお伺いします。

### 子どもの貧困問題について

**質問** 現在子どもの貧困率は16.3%が貧困に当

るといわれています。この問題は子どもの学力や生活行動に大きく影響を及ぼすともいわれ、デリケートな問題ですが、学校ではどのように把握し対応しているのか、お伺いします。

### 河川の堤防補強について

**質問** 平成23年の台風12号、15号により釜無川の桐沢橋上流550m地点に設置されていた聖牛が全て流されました。ここは過去に堤防が決壊した場所であり、今後の豪雨に対し近隣住民は不安を感じています。市として河川管理と安全対策をどのように考えているかお伺いします。

**答** 山梨県に要望したところ、「現在の堤防は流水部からの距離があり早急な修繕は必要でないと思われるので経過観察とし、変更が現れたら対応します。」とのことであり、ご理解願います。

### 人口減少問題について

**質問** 国の施策だけでなく、荏苒市独自の少子化対策を実施すべきだと思います。例えば偉人に関する活用です。わがまちでは様々な分野で歴史に残る偉人が誕生しています。これから学び育つ子どもたちに、多くの偉人が誕生しているこのまちに夢をもち、将来は生まれ育つたこのまちで活躍するような施策も必要だと思えます。見解をお伺いいたします。

**答** 本市の偉人の活用につきましては、平成23年から市民交流センター内にふるさと偉人資料館を開設し、小林一三翁や保阪嘉内などの功績等を展示するとともに、新たな先人の特別展を開催しております。今後も子どもたちがふるさととの偉人について学び、生まれ育つたふるさとに誇り

守屋 久 議員  
[荏苒クラブ]

### 防災対策について

と愛着を持てる場として、ご活用いただきたいと考えております。

**質問** 広島市内を襲った局地的な豪雨で、自宅で過ごしていた幼い子どもや学生などが被災し、尊い命が奪われました。学校での防災訓練はもとより、地域での自主防災組織による訓練で、家族や地域、学校などで今一度話し合ってみる必要があると思えます。見解をお伺いいたします。

**答** 児童・生徒の防災訓練への参加についてであります。災害発生時、自助・共助の気持が重要なことから、児童・生徒が参加しやすい防災訓練が実施できるよう自治会・自主防災会に積極的に働きかけてまいります。

### 排水路整備計画について

と今後におきましては、市防災担当の協力を得る中で、災害から身を守るために地域・家庭・学校が一層連携し、より具体的に地域で活動できる防災教育を進めていくよう指導してまいります。

**質問** 七里岩台上排水路整備事業の一環として畑地帯総合整備事業に着目し、整備を行うといった計画を地元提示しましたが、反対意見が多く、導入には至らなかった経緯があります。平成19年度の見直しから24年度に地元の要望等を踏まえ調査を行い、25年度に調査結果を取りまとめますが、今後の見解をお伺いいたします。

**答** 穴山町の排水路整備につきましては、県営畑地帯総合整備事業として主要水路の整備を提案いたしました。賛同を得られなかった状況であります。引き続き事業実施に向け、ほ場整備等の付帯条件の再考を行い、県営事業として整備できるよう現在、県と協議しております。





高添 秀明 議員  
[蒞政クラブ]

### 体育施設の整備計画について

**質問** 幅広い地域でのスポーツ振興についてであります。市内の各町では町の体育協会主催による体育祭やソフトボール、バレーボールなどの球技大会が開催され、多くの町民が参加しています。まさに、市民総参加のスポーツイベントが実施されています。

地区内に学校がある場合は、小中学校のグラウンドや体育館を利用しています。しかし、中田町や穴山町等のように学校が無い町では、旧小学校の施設を利用しています。

本市においては、現在、体育施設の整備計画を策定中とのことであります。地域にある体育施設の整備を一番にすべくと考えますが、見解を伺います。

次に、峡北地域や県規模で行う各種大会が開催できる施設の整備についてであります。サッカー競技では全国規模の大会を実施できる施設がありますが、他の競技についても、この際、策定中の整備計画に乗せるべきであります。見解を伺います。

**答** 教育委員長 先ず、幅広い地域でのスポーツ振興についてであります。小学校のない地域でのスポーツ活動は、主に旧小

### その他質問

- ◆子どもを産み育てる環境整備について
  - 1) 若い男女の結婚について
  - 2) 統合保育園の整備状況及び今後の計画について
- ◆新府城跡の整備について
- ◆「横内市政8年を振り返って」について

学校のグラウンドや屋内運動場を利用しておりますが、屋内運動場につきましては、建築から40年以上経過している施設もあります。

市内の体育施設整備につきましては、現在、実施しております市民アンケートの意向を踏まえ、市スポーツ推進審議会において審議いただき、その答申を受け、市民の利便性と市全体の効率性、財源の確保、優先順位等を検討したうえで、教育委員会において市内体育施設整備計画を策定してまいります。

次に、各種大会の開催できる施設についてであります。

市営体育館やプールなどの施設整備につきましては、先にお答えした審議会において審議いただく予定であり、審議会からの答申により、計画を策定してまいります。



清水 正雄 議員  
[共伸クラブ]

### 人口減少を乗り切る対策について

**質問** 本市の人口は9月1日現在、3万851人で、10年前に比べると約2,420人も減り深刻な状況です。このまま手をこまねいていけば、県内都市の中では真っ先に消滅する可能性大です。今すぐにも移住者を迎える「仕組み」をつくるのが重要と考えるが、また、市役所内に、移住者業務の専門部署を設けることはいかがか。

**答** 市長 今後、人口対策本部で各種施策の見直し、新たな事業展開について検討してまいります。現在は、移住者対策の専門部署を設けることは考えておりません。

### 交流人口対策について

**質問** 交流人口を増やす施策の内容は。

**答** 市長 各種スポーツ大会の開催や武田の里まつりや花火大会の実施、市民交流センターの開設、のれんの町並みづくりなどの施策を展開してきたところであります。

### 産業振興について

**質問** 従来の空き店舗対策を見直し、商業者の視点から改善を図る必要があるが。

次に、サービスを演出する、やる気のある商業者を行政も商工会も、この人たちを引き立て多く育成することが活性化の引き金になると考えるが。

**答** 市長 平成20年から空き店舗対策事業を開始し、空き店舗解消に努めてきましたが、今後、入居希望者からの要望等、必要が生じた際は、可能な限りの改善を図っていく考えであります。

次に、サービス向上に必要な知識やノウハウを習得する「個店経営研修会」を商工会と協働で開催するほか、新たな商品を開発する事業を支援し、商業者の育成に努めております。

### 甘利沢さくら公園の桜樹勢回復事業について

**質問** 同公園の桜の成長が遅く、管理が不十分との地域住民の声が反映され、樹勢回復事業に取り組みますが、どんな事業になるのか。

**答** 市長 今回、20力所程度の客土の入れ替えや乾燥に強い桜への樹種転換等を試験的に行います。

### 横内市長8年の総括について

**質問** 上ノ山、穂坂地区工業団地のアクセス道路建設を巡り、市に2億6,000万円の負の遺産を残してしまった。この責任をどうとるお考えか。

**答** 市長 適切に対応してまいりましたので、問題は無いものと考えております。

**質問** 市に損害を負わしているながら責任を取らないわけにはいかない。全額弁済を求めたい。そうしないと、市民は納得しない。

**答** 市長 救心製菓との契約もあり、設計路線の用地を最終段階でやむを得ず回避した道路の早期開設を行ったものであり、責任をとる必要はないと思っております。



清水 康雄 議員  
[共伸クラブ]

### AED(自動体外式除細動器)について

**質問** AEDは、突然の心停止を起こして倒れた人を、その場の人たちが倒れた人の命を救うことができる医療機器であります。最近ではAEDの使用方法について峡北消防本部の救急救命士の指導のもと、各地区において講習会を行う機会が多くなっています。市内の公共施設の設置個所と総台数について伺います。

**回答** 市長 AEDの活用は、救命措置として有効なもので、昨年度新たに各地区公民館10施設に設置し、市が管理する施設では、本庁舎をはじめ、福祉施設、教育施設、スポーツ施設等、合計42施設、45基を整備しました。

**質問** 各地区公民館に設置しているとのことだが、心室細動を起こすと1分経過するごとに約10パー

### その他質問

- ◆旭町地内治山事業について
- ◆土砂災害防止対策について
- ◆水道用水源の確保について

セント、助かる確率が減っていきといわれています。救急車が到着するまでの間、AEDが倒れた人の近くにあり、すぐに操作をすれば助かる確率が高くなることから、時間を短縮するためには各地区の分館等にも設置をすればと思うが。

**回答** 保健課長 厚生労働省が示しているAEDの適正配置に関するガイドラインによると、心停止の7割以上が住宅で発生するが、目撃される割合や心室細動の検出度は公共場所のほうが高く、救命される可能性が高い。そのためには、わかりやすい場所、心停止のリスクがある場所に設置すべきと示しております。

そうした考えのもと、本市では、地区公民館または公共施設等々住民が集い、数多くのイベントが行われる場所であり、突然の心停止が発生した場合、目撃される頻度

### 鳥獣害対策について

も高く、AEDが利用される救命措置が行われるなどの有益性を考えて設置したので、分館への設置については、現時点では考えておりません。

**質問** 鳥獣による被害額は年々増加の傾向にあります。捕獲数もわずかです。捕獲数が増えています。地区で見かける数は、減少しているどころか増加の傾向にあります。今年度、葦崎市鳥獣被害防止計画の見直しが行われましたが、鳥獣害対策の今後の取組みについて伺います。

**回答** 市長 県の鳥獣保護事業計画の見直しに基づき、本市でも鳥獣被害防止計画の見直しを行いました。今後の取組みにつきましましては、継続して猟友会の捕獲等による個体数の削減、電気柵の機能向上のための原材料支給を行い、被害防止に努めてまいります。なお、本年度から県営中山間事業により円野、清哲、神山地区において計画的に電気柵の機能強化が図られることとなっております。



森本由美子 議員  
[公明党]

### 指定管理者制度について

**質問** 地方自治法の改正により、「公の施設」の管理運営を民間企業やNPO法人も指定管理者として行えるようになりました。経費縮減と同時に多様な市民ニーズに対応するため、民間のノウハウや能力を活用し、質の高いサービスを提供することが目的です。各施設の整備や管理料に支払われる市民の税金が、市民のために最大限に活かされているのか、市民に説明していく責任があります。また、指定管理者のモチベーションを上げていくことも大切であり、管理者の実績、業績を適格に評価し、公表する必要があります。利用者も含めた外部評価を導入するお考えは。

**回答** 市長 本市では9つの指定管理者により10の施設の管理運営が行われています。現在、評価は

### その他質問

- ◆「域学連携」による地域づくりについて
- ◆子ども的人権を守るCAPの導入について
- ◆釜無川河川敷の雑木について
- ◆葦崎西中学校の駐車場の確保について

年度終了時に事業実績報告書の提出を受け、所管課のヒアリング及び監査委員による監査を行っており、一定以上のサービスの提供や適切な施設管理がなされていると考えています。外部評価の導入については、県や他市の状況を参考に、調査検討してまいります。

**質問** 利用者の意見や要望をどのように汲み上げ、活かしていますか。

**回答** 商工観光課長 施設ごとにアンケート等が実施され、できる範囲で運営に活かされていると考えています。

### 公共交通網の充実について

**質問** 住民の利便性、超高齢化社会に向けての介護予防、環境への配慮等の有益性が発揮されるよう充実を図る必要があります。それがひいては、人口流出の歯止めや田舎を求めて都会から移住を

考えている人たちの心をつかむ要因にもなり、葦崎市の活性化に貢献できると考えます。地域の隅々にまで走らせたり、便数を増やしたり、学生の料金も高齢者同様、ワンコインにするなど、子どもから高齢者まで多くの市民がいつでも安心して利用できる市民バスへと充実して欲しいと考えます。市民バスの将来のあり方をどのように展望していますか。

**回答** 市長 高齢化等により増加傾向にある交通弱者に対する支援として、公共交通及び交通施策の充実はなくてはならないものなので、今後のあり方や料金体系について、財政的な面も含め研究課題とします。

**質問** 公共交通会議の他に、地域ごとに現在の不便さの解消や将来のあり方を考え、本市の全体的な市民の声をまとめ上げる工夫が必要と考えますか。

**回答** 企画財政課長 財源的な問題もありますが、きめ細かな事業展開に結びつける手法の一つとして理解しています。



小林恵理子 議員  
[日本共産党]

その他質問

- ◆介護保険の問題点とサービスを後退させない取り組みについて
- ◆峡北行政事務組合のごみ処理施設整備基本構想と市のごみ減量化について
- ◆高齢者への温泉施設利用料助成について

以上の場合、開発に伴う大規模行為に該当し、届出対象として指導しているため、現状でも十分対応できると考えます。

異常気象に対応する防災対策の強化について

質問 日本列島はこの夏も台風や記録的豪雨に襲われ、各地で大きな被害に見舞われました。土砂災害への備えを防災対策の大きな柱の一つに位置づけなければなりません。市内の危険箇所の総点検を行い、必要な対策を取ること、葦崎市土砂災害ハザードマップの市民への周知徹底を図ること、土砂災害を想定した避難訓練の実施を行うことが必要です。

回答 市長 危険箇所の総点検は、県と合同で緊急パトロールを実施しています。県では、異常がみられた場合には、必要な対策を取るとのことです。土砂災害ハザードマップの周知は、組回覧やホームページ等を通じて徹底を図ってまいります。葦崎北西小学校避難所地区では、要配慮者を対象の

優先避難訓練を実施しており、今後、防災訓練の優良事例として、市内全域に啓発してまいります。

太陽光発電（ソーラーパネル）への対応について

質問 山林、空き地、遊休農地などに太陽光発電施設（ソーラーパネル）の設置が急激に増加しています。市内でも目にします。再生可能エネルギーの普及や利用拡大は推進していくべきですが、景観と自然環境の破壊につながるものは規制していくべきです。葦崎市景観条例、景観計画に太陽光発電施設を届け出対象として明記し、1ヘクタール未満でも、景観破壊、環境破壊、水源滋養、保水力保持などの観点から精査すべきです。

回答 市長 市の景観計画及び景観条例では、太陽光発電施設の明記はありませんが、1,000㎡

穴山三ツ石地区への産業廃棄物中間処理施設設計画について

質問 穴山町三ツ石地区に産業廃棄物中間処理施設の計画が持ち上がっています。7月には、三ツ石地区全組長の連名で反対書と457筆の設置反対署名も提出されています。県から意見を求められた場合、最も重視されなければならないのは、隣接地域住民の意向です。市の対応・考えを伺います。

回答 市長 地元住民代表より設置に反対する署名の提出を受けたことを踏まえ、県に対し、地域の方々の意向を伝えたところですが、県の要領では、地元住民の同意を得ることが設置許可の前提なので、市としても、住民の方々の意向を重く受け止めて、必要な対応を行ってまいります。

耕作放棄地及び空き家対策について

質問 先ず、葦崎市の耕作放棄地は、今後、増加傾向にあると推定します。市としては、増え続ける耕作放棄地にどう対応するのか伺います。

回答 市長 現在、農業経営基盤強化促進法により農地の売買、賃借による農地の有効利用、認定農業者等の規模拡大など、

次に、市内に存在する空き家は192戸です。うち何らかの問題がある空き家は93戸で、(a)修繕の必要がない又は多少の修繕が必要は40戸(43%)、(b)大規模な修繕が必要で再利用困難、適正管理が必要は41戸(44%)、(c)倒壊の危険性があり近隣への影響を考慮する必要があるは12戸(13%)であり、前述したb、cについては、何らかの処理を必要とします。またaについては、賃貸の実績があるのか伺います。



藤嶋 英毅 議員  
[経世クラブ]

その他質問

- ◆土砂災害危険箇所の防災対策
- ◆AED（自動体外式除細動器）の夜間・休日利用について（公的機関の夜間・休日の対応）
- ◆ワインで乾杯（宴会等での乾杯に穂坂ワインを）
- ◆市営清哲住宅の空き部屋対策について

釜無川河川敷雑木伐採について（有害鳥獣排除のため）

質問 今、市民は釜無川河川敷のシカの生息に関心を持っており、県に雑木伐採を強く要望してください。

回答 市長 県の回答では、「本年度、樹高の高い箇所の段階的な伐採を予定しておりますが、要望箇所すべての実施はできません。また、本年度より新たな試みとして公募伐採事業を実施しますが、効果を見て事業拡大を検討していく。」とのことですが、公募伐採事業とは、希望者が河川の樹木を伐採し、持ち帰ることができ、薪として、薪ストーブの燃料材としてニーズがあるとのこと。市としては、公募伐採事業の推進と併せて、伐採についての予算確保を引き続き要望してまいります。

## 第2回 (11月)

# 臨時会

平成26年第2回臨時会は、11月19日から21日までの3日間の会期で開催しました。

条例改正議案の審議、議会運営委員会、各常任委員会等の委員構成などを行いました。

(その内容等については次号でお知らせします。)

### 笑顔の写真で創るモザイクアート

市制施行60周年記念事業の1つとして、市民の笑顔の写真約3,000枚で制作された巨大壁画です。ふるさとまつりでも皆様にご覧いただきましたが、年内中、市役所1階ロビーに展示されています。

市役所においていただいた際には是非ご覧ください。素敵な笑顔でいっぱいになっています。



### 議会報告会を開催しました

平成26年度の議会報告会を8月20日から27日の間に市内5箇所で開催しました。

ご多用なところ、ご参加いただきありがとうございます。

各会場でテーマに沿って報告しましたが、各地区テーマの報告概要及び意見交換で出された質疑に対する回答につきましては、それぞれの地区ごとにまとめ、地区長、組長を通じ回覧をお願いしますので、ご覧いただけますようお願いいたします。

なお、来年度も開催を計画しておりますが、開催時期等につきましては、今後検討してお知らせしますので、多くの皆様のご参加をお願いします。

### 女性議会を開催します

本市のさらなる発展に向けて、女性の視点からの提案等をまちづくりに反映させるための好機として、女性議会の開催が今年2月初旬に計画されております。今後の市広報等で開催期日などがお知らせされますので、市民の皆様にも女性議会の傍聴など、まちづくりへのご参加をお願いします。

### 編集後記

議会では、本年2月の豪雪を受け、大きな災害が発生した場合の行動指針とする「市議会災害対策支援本部設置要領」を策定しました。私たちも地域を守る担い手の一人として、地域の皆様と連携しながら活動してまいります。

さて、本年も間もなく師走となります。今年一年を振り返ると、来年の抱負を熟考する時期でもあり、私たちが活動する活動の振り返りも、この機会に相互に切

磋琢磨して力を注いでまいります。

また、次号から新メンバーによる編集になりますが、今後も議会の情報を皆様にお知らせする議会だよりにていきますので、ご期待ください。

#### 議会だより編集委員会

委員長	清水 一
副委員長	西野 賢一
委員	藤嶋 英毅
委員	一木 長博
委員	奥石 賢一
委員	小田 一孝
委員	小林 伸吉

- |       |               |
|-------|---------------|
| 12月8日 | 開会、諸報告、市長所信表明 |
| 17日   | 一般質問          |
| 18日   | 一般質問          |
| 19日   | 議案審議・財務常任委員会  |
| 22日   | 各常任委員会        |
| 25日   | 議案審議、委員会報告、閉会 |

※上記日程は、定例会前の議会運営委員会において正式に決定されます。

※委員会の傍聴を希望する方は、事前に申込手続きが必要です。

※本会議は、インターネットでライブ中継・録画中継を配信しています。

## 12月定例会日程〈予定〉